

【 臨床研究に関する情報の公開 】

脳外科手術をパークベンチ体位で受けられた患者さまの試料・情報を用いた看護系研究に対するご協力のお願いについて

項 目	内 容
1. 研究課題名	「パークベンチ体位の褥瘡予防対策の有効性に関する研究」
2. 研究の対象者	2015年9月から2020年5月までに当院の脳外科において開頭手術をパークベンチ体位で手術を受けられた患者さま
3. 研究期間	2021年10月1日 ～ 2022年3月31日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所：関西電力病院 中央手術室 研究責任者：中央手術室 看護師 瀧川奈津季
5. 本研究の意義・目的	全身麻酔の手術を受けられる患者さまは長時間動くことが出来ず、同じ姿勢となるため褥瘡（床ずれ）が出来る可能性があります。手術室では負担のかかる姿勢になっていないかを確認しながら手術中の患者さまが安全で安楽な姿勢となるように努めています。手術の内容によっては、日常生活であまり行わない姿勢をとることがあり、その中でもパークベンチ体位は皮膚障害が起きやすい体勢です。患者さまの負担が最小限となるよう対策を講じ、現在では褥瘡の発生はなく経過しています。その対策の有効性を明らかにするため、本研究に取り組もうと思いました。このことを検討された研究は存在しません。よって、本研究の実施には意義があるものと考えられます。
6. 研究の方法	本研究は、診療録（カルテ）を利用して研究を行います。臨床データは以下を使わせて頂き、それぞれの関連を検討させていただきます。個人の特定可能な情報は解析に使いません。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	（使用する臨床データ） 年齢、性別、BMI、麻酔時間、体位固定時間、体位作成状況、出血量、体温変動状況等 これらのデータは院内発表または学会、論文として発表させて頂く可能性があります。
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	情報管理担当者が研究用パソコン内にデータとして保管し、施錠可能なデスクにおいて保管管理します 廃棄方法については、研究発表後、5年間保管し、データ廃棄の際は、複数名で完全にデータを消去したことを確認します
9. 個人情報の保護について	情報収集には、診療IDや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。 研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合では、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出下さい。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません
10. 情報管理責任者	関西電力病院 中央手術室 看護師 瀧川奈津季
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 中央手術室 看護師 瀧川奈津季 電話：06-6458-5821（代表）